			_				
直岡	<b>+</b> 2	ᄺᆕ	7章亚	価こん	7	=	1.

真岡市行政評価システム 証価対象を度 今和6 年度

## **事務事業マネージメントシート**

作成日	今和7	年	03 月	24	Е

計画刈家平長	₹1	阳0 平层		2,377,2.5	R V III	<u> </u>	TF成日 マ和7 年 03 月 24 日
事務事業名	合同記	就職面接会開	見催事業			担当	産業部 商工観光課 勤労者係
政策名	3	「にぎわい	づくり」~まちの	活力アップ!~		□ 総重(総合	計画重点事業) □ 総新(総合計画新規事業)
施策名	5	雇用の安定	と創業支援の推進			□ 戦拡(総合	戦略拡充事業)    戦新(総合戦略新規事業)
関連個別計画	真岡市	まち・ひと・	しごと創生総合戦略			- <del></del>	□ 単年度のみ □ 2 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
法令根拠						事業期間	□ 毎年度実施(開始年度 平成28 年度~)
予算科目	1	一般会計	5.労働費	1労働諸費	2雇用支援対策費		│ □ 期間限定複数年度( 年度~ 年度) │
予算科目							
予算科目							
事業概要	職面接: ・参加:	会」を開催する。 対象企業:真岡	。 市内に事業所がある企業及	るび真岡地区雇用協会会員			<b>E用協会及びハローワーク真岡等の関係機関と連携し、「もおか市合同就</b> E満の年齢制限を撤廃)

	段(主		)部 (1)事務事業の目的	- 10 10		ı	<b>④</b> 活動	hಱ	票 (事務事業の活動量を表す	指煙) のt	<b>生</b> 移					
		<b>(4/白</b> )	<i>IJ)</i>				<b>⊙/</b> □≡	W) BT	名称	日介示/マクコ		3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込
6年度実績 ・令和6年7月「もおか市合同就職面接会」だけでなく、「もおか市合同 企業説明会」を開催した。 企業事業概要等の説明を聞いたうえて、面接会を行った。						· [	ア	参加導	事業所数 		社	21	27	21	28	30
・令和7年1月「もおか市合同企業説明会」を単独開催。 ・進路決定前の高校生に向け、市内にある企業を知ってもらうきっか けづくりを目的に「高校生向け企業見学バスツアー」を初開催					1 1	参加习	<b></b> <b> </b>		٨	19	28	31	46	60		
7年度計画 ・6月に「もおか市合同就職面接会&合同企業説明会」開催						<b>ウ</b> ī	面接到	受付件数		件	32	42	41	46	60	
・ 3月に「もおか市合同企業説明会」開催予定 (令和9年3月卒業見込みの大学生の採用選考活動日(3/1~)に合						I										
・3月		おか市	高校生向け企業見学バスツア		定		オ	***	ᇑᄼᆋᄼᅩᇬᄼᅩᆂᅶᄼᆂᅷᄔᄺ	\ D#14						
			を対象にしているのか)*人や[・真図末内に東業所があるの#		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· <u>··</u> ···-	ভ xij ৰ	<b>聚</b> 打日作	票 (対象の大きさを表す指標 名称	の推移	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込
・参加対象企業:真岡市内に事業所がある企業及び真岡地区雇用協会会員 企業 ・参加対象者:翌年3月卒業予定の大学院・大学・短大・高専・専修学校 の学生及び一般求職者 ・企業見学ツアーについては高校生及び中学生を対象とする					Г	ア 真岡公共職業安定所管内の有効求職者数				<u>الم</u>	27,034	24,280	24,086	20,919	21,000	
	<i>*</i> 70 1			2,13(2)			イ ;	真岡2	公共職業安定所管内の有効求人数		٨	28,325	28,618	25,352	19,379	19,400
							ゥ									
							Ι									
③ 音[	ভা <i>(</i> হ	の事	業によって、対象をどう変える	(Oh)			才	担比は	票(対象における意図された	対象の程	度) の排乳	ż				
			::::::::::::::::::::::::::::::::::::			······t	0770	143141	名称	7,50, 112			4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
			の醸成づくり。			[	ア 面接会内定事業所数			社	4	5	5	8	9	
							1 [	面接名	会参加求職者の採用者数		٨	5	8	7	10	11
							ゥ									
						-	I									
(2) 糸	公車型	生毒の		単位	3 4	=	オ :		4 年度(実績)	5	年度(	宇結)	6 年度	(宇結)	7 年6	<b>=</b> (目;λ)
(2) 1	心事未	<b>E</b> 更v.	国庫支出金		千円       千円       千円       千円			0 0 0			5 年度(実績)		6 年度(実績)		7 年度(見込)	
			県支出金					0	0			0		0		0
投入量	事業費	財源内	地方債	千円			0 0		0		0	0		0		
量		訳	その他	千円					0 0		0					
			一般財源	千円			28	33	286		302		310		310	
事業費計 (A) 千円				283 286			302			310		310				

## \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 2. 1 次評価の部 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある ①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か? (評価理由) 雇用機会を創出し、雇用の促進を図ることは、市の政策に結びついている。 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市が事業に関与する必要があるか? (評価理由) 雇用機会を創出し、雇用促進を図ることは妥当である。 ③対象と意図の妥当性 □ 対象・意図を見直す必要はない ■ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か? (評価理由) ・対象を限定・追加する必要があるか? 雇用機会を創出し、雇用促進を図ることは妥当である。 ・意図を限定・追加する必要があるか? ④成果の向上余地 □ 向上余地はない □ 向上余地がある ・成果を向上させる余地はあるかどうか?ない場合の理由は適切か? (評価理由) ・ 求職者をより増加させるため、時期について検討する必要がある。 ・ アンケート結果によると、市HPやSNSなどの情報から参加ではなく、ハローワークでの声かけ・親御さんから情報になっていることから、東京圏の大学生への周功方法について検討が必要である。 ・ 大学進学前の中学生・高校生に対し、市内企業を知ってもらうための機会を提供することが必要。 ・ 青年式で帰省する成人者に対し、青年式会場において市内企業のPRブースを設ける。 ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? **有効性評価** ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名: ・類似事業はないか、統合や連携はできないか? ■ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: ■ 類似事業はない (評価理由) ⑥事業費の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか? (評価理由) ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか? 開催のための必要最低限の経費であり、削減余地はない。 効率性評価 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性) □ 統合 □ 継続 ・求職者の参加人数の増加 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 課題、課題の克服の方向性 ・人手不足により、参加企業数は増加傾向であるが、参加求職者数は横ばいであるため、アンケートによる効果検証を踏まえ、開催時期ややり方の見直しを行う。 低下 新卒者への周知方法の検討 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり コスト 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)